

令和2年3月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和2年(2020年)3月26日(木) 午後3時00分から午後4時44分まで

2 場 所

中央公民館 応接室

3 議 題

(1)協議(審議・検討)

議案第3号 東御市公民館条例施行規則の一部改正について

議案第4号 東御市社会教育指導員設置に関する規則の一部改正について

議案第5号 東御市社会教育指導員服務規程の廃止について

議案第6号 東御市立小学校及び中学校職員服務規程の一部改正について

議案第7号 新型コロナウイルスによる感染症対策について

(2)報告

ア 教育課

(ア)体カテストの結果と活用について

(イ)いじめ、不登校の状況等について

(ウ)教育支援委員会最終報告について

(エ)議会報告

4 出席者

○教育長 小山 隆文

○委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 小林 利佳

委員 直井 良一

○その他

小林教育次長、柳沢教育課長

畑田指導主事、長岡指導主事、正村社会教育・公民館係長

渡邊身体教医学研究所主査、唐澤学校教育係主査、土屋学校教育係主任

会議録

小林教育次長

ただいまから、3月度定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

3月度定例教育委員会の開会を宣言します。

本日は、新型コロナウイルスの感染が収まり切れていない状況ですので、「校長先生・教頭先生の送別会」は中止とさせて頂きましたが、17時から、「転任・退職される校長先生・教頭先生の理事者への挨拶」がございますので、限られた時間ですが宜しくお願い致します。尚、新年度の校長先生、教頭先生の名簿をお配りしましたのでご確認下さい。4月1日(水)のご案内の日にお使い頂きたいと思っております。

はじめに、新聞の資料をご覧頂きたいと思っております。3月5日付の「長野県民新聞」ですが、「学びの改革に挑む県下小学校①」という見出しで、軽井沢西部小学校の「自由進度学習」の取組が紹介されておりました。又、裏面には、「学びの改革に挑む県下小学校②」ですが、3月15日付の鍋屋田小学校の取組が紹介されておりました。見出しは、「連学年合同授業と担任制」「5・6年生は教科担任制も」更に「誰が学級に入っても変わらない学級」とあり、中段には、「地域・保護者も積極的に参加」「全校対話は大人も交え議論」「思考力・表現力・まとめる力が育つ」とありますが、東御市でも、学校の独自性を発揮して、それなりに取り組める内容かと受け止めております。県教委も、教師主導の画一的な一斉指導からの転換として「授業改革」と「学校システムの改革」が必要であるという見解を示しております。何事も人間関係を築き上げるクラス作りが全ての基本になるかと思っておりますが、「授業改善」への取組の一つとして、出来るところから取り入れてみる価値があるのではないかと思いますので、4月の校長会でもお配りをしていきたいと考えております。

東御市と致しましても、今後、タブレットを活用するICTの環境整備を進めて参りますが、掲載されている視点で授業を観て頂けたらと思っておりますので宜しくお願い致します。

尚、「学校システムの改革」については、既に北御牧小で進めて頂いている教科担任制の導入を積極的に取り入れて欲しいとお願いしてあります。学年1クラスといった学校もありますが、連学年でチームを組んで取り組んで頂きたい旨もお伝えしてありますので、宜しくお願い致します。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

議案第3号 東御市公民館条例施行規則の一部改正について説明を求めます。

正村社会教育・公民館係長

東御市公民館条例施行規則の一部改正について説明いたします。

令和2年度より会計年度任用職員制度が施行され、公民館長も同様に会計年度任用職員に移行することに伴い、必要な規則を改正するものです。

小山教育長

議案第4号 東御市社会教育指導員設置に関する規則の一部改正について説明を求めます。

正村社会教育・公民館係長

社会教育指導員の会計年度任用職員への移行に伴い、必要な規則を改正するものです。社会教育指導員は現在地区の公民館長を兼ねておりますので同時に改正いたします。

小山教育長

議案第5号 東御市社会教育指導員服務規程の廃止について説明を求めます。

正村社会教育・公民館係長

これまで社会教育指導員には服務規定がありましたが、会計年度任用職員への移行にともない、これを廃止するものです。

小山教育長

質問はございますか。

小林経明委員

解雇要件を削除する理由は何ですか。

正村社会教育・公民館係長

会計年度任用職員制度の中で定められるためです。

小山教育長

議案第3号、4号、5号について異議ありませんでしょうか。

全員

異議なし。

小山教育長

議案第6号 東御市立小学校及び中学校職員の服務規程の一部改正について説明を求めます。

土屋学校教育主任

会計年度任用職員任用職員制度の施行に伴い必要な規定を改正するものです。

小山教育長

異議ありますでしょうか。

全員

異議なし

小山教育長

議案第7号 新型コロナウイルスによる感染症対策について説明します。

2月28日(金)午前の「第12回 市校長会」を受け、急遽、17時からの「第3回 総合教育会議」にご出席を頂き、皆さんの後押しで卒業式の保護者参加を、花岡市長にも了解して頂くことが出来ました。その際出されました、「やり残しの教科内容はどうなのか」「ゲーム依存にならないか」といった声を頂きましたので、3月2日(月)、3月10日(火)、3月13日(金)と「臨時の校長会」を開き、「休校中の生活や家庭学習」について、「児童館や放課後児童クラブの対応」について、「家庭訪問や部活」について、更に、「卒業式や入学式の簡素化、保護者や児童生徒への連絡方法等」について話し合ってきました。

卒業式についてはご出席を頂いた通りですが、入学式については、中学校は、登校日である3月16日(月)に、小学校は、同じく3月16日(月)と3月17日(火)の間に、来賓なし、在校生ありの入学式を行うAパターンと、来賓なし、在校生なしで、保護者と新入生のみで行うBパターンで計画していること、3月26日(木)に最終決定をし、きずなメールで連絡することを知らせて、家庭通知を児童・生徒に持たせました。尚、春休みの部活動も中止の連絡を載せてあります。来賓につきましては、早めに連絡をする必要があり、3月23日(月)に、ご臨席をお断りさせて頂く通知を各校から出させて頂きました。

これからの流れですが、3月末の新年度準備の登校は、新小6年、新中2・3年で予定通り実施します。又、小学校は、4月4日(土)の入学式の日、午前(祢津、滋野、北御牧)午後(田中、和)は異なりますが、始業式等を実施し、4月7日(火)から新年度をスタートさせます。両中学校は、4月4日(土)は入学式のみで、4月7日(火)に始業式等を実施して、新年度をスタートさせることになっております。例年行っております学級PTAの役員決めですが、東中以外は入学式の日に行う計画です。(東中は後日実施)

春休み中に新学期に関わる休校措置が出るような場合には、入学式の延期を含め、再度校長会で詰めて行くことになっています。本日別会場で校長会を実施しております。

本日、今後の対応・対策として4月2日(木)の臨時校長会で扱うプリント「令和2年度 東御市第1回 臨時校長会(資料)」も配らせて頂きました。ご確認を頂きたいと思います。

小林経明委員

コロナウイルスに対し出席を停止させるなど、教育委員会で小中学校に対しどう行動するか指定できますか。

小林教育次長

学校保健安全法の中で指定感染症がある場合には校長権限で出席停止できるようになっています。新型コロナウイルスはこれに該当します。

小山教育長

続きまして、(2)報告に移ります。順次報告願います。

渡邊主査

(ア) 体力テストの結果と活用について報告します。

東御市内小中学校の児童生徒の体力向上事業について説明させていただきますが、体力状況はあまりよい状況ではありません。このあと体力向上に向けた提言をさせていただきたいと思っています。

学年別・学校別、県別、国別など、比較可能な情報を集め、まとめたものが資料になっています。さらに小学校5年生と中学校2年生については、全国比較できるので資料の中に記載があります。検討の項目に関しては体力運動能力の8つの測定項目と運動習慣や生活習慣のわかる10のアンケートを分析しました。検討結果ですが、体力合計点の全国平均を100とした場合、東御市は男子が97.4、女子が95.4で、男子は長野県の94.7より高く、女子は長野県の95.8より低い結果でした。項目別で見ると、体力合計点より低いものが、反復横跳び(男子97.3)、20メートルシャトルラン(男子95.6、女子91.4)、50メートル走(男子96.8)でした。この3種目を高めると数値が上がることとなりますが、これらが低い原因として「歩いていない」ことが1番のポイントかと思っています。

次に運動習慣等調査ですが、これは体力運動能力の8種目とは関係なく、10のアンケート調査に基づくものです。小学校5年生では男女ともに、運動スポーツ時間が少ないことが毎年の傾向です。何か時間を作る必要があるかと思っています。今年は新たな傾向として、「体育の事業が楽しいかどうか」という問いに対しての数字が低く、体育の質が落ちている可能性が高いといえます。続いて中学校2年生ですが、男女ともに睡眠時間8時間以上の割合が低いです。これも毎年の傾向になります。また男子の体型が正常範囲ではないことが分かっています。これはBMIで評価されており、太りすぎであるのか、痩せすぎであるのかわかりませんが、県では高く、東御市では低い状況です。女子も県より低くなっています。

今後に向けた提言ですが、東御市の児童生徒の体力は男女とも全国水準に達しておらず、特に女子は県水準に達しておらず、まだ対策することがあるといえます。小中ともに走ることやステップといった下半身の基本的な動作と、投げるという上半身の基本的な動作に不十分さが見られ、基本的な運動要素を含む全身を使った遊びをもっとしていかなければならないと思います。急に競技スポーツということではなく、楽しみながら全身をつかった遊びができる環境をつくらないといけないのではないかと考えています。

また全国と比較して運動・スポーツの実施時間が少ない状況が毎年続き、意図的に体を動かす時間を設けないと、身体活動量増加と体力向上は望めないと思います。小学校では休み時間を有効活用できるプログラムづくりや地域との連携による放課後の運動遊びの機械・場づくりを行うことによって、現実的に実践・継続可能な形で運動・スポーツの実施時間を増やすことができる可能性があります。

女子は、運動が楽しくない、動かない、体力が伸びないという悪循環に陥っている児童生徒が少なからずいる可能性があり、女子生徒の運動離れに配慮した取り組みとして、保健体育の授業を工夫するとともに、既存の運動部活動の形態とは異なる運動サークル的な「ゆる部活」の導入などにより、体を楽しく気持ちよく動かすことを主眼においたアプローチも検討する必要があると考えられます。

数字からみると、何か少しやって、というよりも、抜本的なことをやらなければ変わらないのではないかと思います。

小林教育次長

ショッキングな数字かもしれませんが、何かご質問、ご確認したい点がありましたらお願いいたします。

下村委員

確かに見守り等で立っていても、歩いている子どもが少なくなっていると思います。体力の低下については保護者にも知っていただければならないことだと思います。

小林教育次長

東御市は送迎が多いとすると、原因は地形でしょうか。東御市よりも山間地域はあると思いますが。

小山教育長

睡眠が少ないとなると、親子で遅くまで起きていて、朝寝坊し、朝間に合わないので送迎することもあるのではないのでしょうか。外的な理由よりも、色々なものが関連して内々の理由の方が大きいのではないかという気もします。

小林経明委員

これから実際に変えていくために、どうするのが重要であると思います。

データにある反復横跳び、20メートルシャトルラン、50メートル走は速筋です。速筋を鍛えていないということは遊びが足りていないということだと思います。プログラムを各小学校に提出することはできると思います。

また、中学校のデータで、男女差がかなりあるということは、運動が個人の判断に委ねられ、学校で何もしていないと言えます。組織及び教育プログラムに則っていないということだと思います。これは中学校の教育を変えられるかどうかと等しいと思います。

下村委員

体育の授業が楽しくないというのは問題であると思います。

小林経明委員

自由な発想が体育の授業にないということがひとつ考えられると思います。強制的な動きになってしまうので楽しくないと感じてしまうのではないのでしょうか。

直井委員

仕掛け方が重要であると思います。

渡邊主査

先生方が遊んでいないということもあると思います。先生方の遊び直しも必要です。

小林経明委員

小学校の時の体力のなさが、将来どう学力や疾病と関係するかといったデータを保護者に伝えることも重要です。

直井委員

体育の中でタブレットの活用なども考えていかないといけないと思います。

小山教育長

例えば親子参観日などで、参観でなく参加型の体育の授業をやり、体を動かすことの大義がどこにあるかを保護者に体験してもらえれば良いと思います。大きな課題ですので検討させていただきたいと思います。

長岡指導主事

(イ) いじめ・不登校の状況等について報告します。

令和2年2月末現在、不登校の児童生徒の状況及びいじめ、いじめと思われる把握件数は資料のとおりです。

(説明内容非公開)

小山教育長

スクールソーシャルワーカーが東御市にも配置していただけることとなりました。東信教育事務所に所属しながら、1週間に7時間、東御市に入っただけとのこと。スクールソーシャルワーカーに東部中に入ってもらい支援していただこうと考えています。各学年の中に入りながら具体的に不登校対応を詰めていかないといけないと思います。上田広域のスクールソーシャルワーカーには北御牧中学校、北御牧小学校中心に入ってもらい、スクールカウンセラーは田中小学校と和小学校に入ってもらおう予定です。

小林経明委員

不登校の問題は教員のあり方、校長のあり方に尽きると思います。

長岡指導主事

この状況に危機感を持ち、学校でしっかり受け止めていただきながら、対応しなければならないと思います。

担任がどれだけ子どもと保護者に思いを伝えられるかが一番重要なところだと思います。

畑田指導主事

(ウ) 教育支援委員会最終報告について申し上げます。

(説明内容非公開)

小林教育次長

(エ) 3月定例議会一般質問に対する答弁について報告します。

教育委員会関係の一般質問では4人の議員から5問の質問がありました。(資料説明)

- ・子育て・教育支援対策について
- ・新型コロナウイルス(新型肺炎)の対応について
- ・東御市における「持続可能な開発目標 SDGs」の取り組みについて
- ・成人式の実施について
- ・パートナーシップ宣誓制度について

小山教育長

本日の議題は以上です。それでは、3月度定例教育委員会を閉会します。